



ふじあざみ

XバンドMPレーダ

近年、局地的な大雨や集中豪雨が頻発していることから、従来型レーダではとらえることのできなかった局地的な豪雨についても、詳細かつリアルタイムでの観測が可能な、高精度のXバンドMPレーダを新設し、ゲリラ豪雨の実況監視を強化しています。

このXバンドMPレーダは、現況の雨量情報から強い雨域の発生場所、範囲が判別できます。また、履歴の雨量情報では雨域の移動状況の推測や継続時間を把握することもできます。XバンドMPレーダの設置により局地的な大雨や集中豪雨の実況監視が一層強化されました。

平成22年度から愛知県安城市、一宮市、三重県鈴鹿市の3箇所に設置したXバンドMPレーダで試験運用を開始しています。平成23年度からは静岡県内において富士砂防事務所も含め、静岡市内の静岡河川事務所、沼津市内の沼津河川国道事務所で試験運用を予定しています。



<http://www.river.go.jp/xbandradar/>にて試験運用データ（下図H22年度稼働エリア）を配信中

XバンドMPレーダの特徴と配置計画

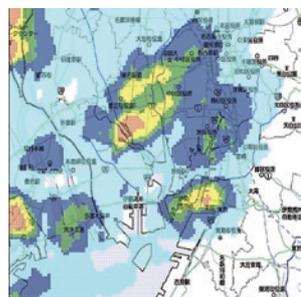
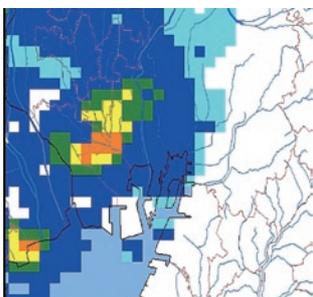
○特徴



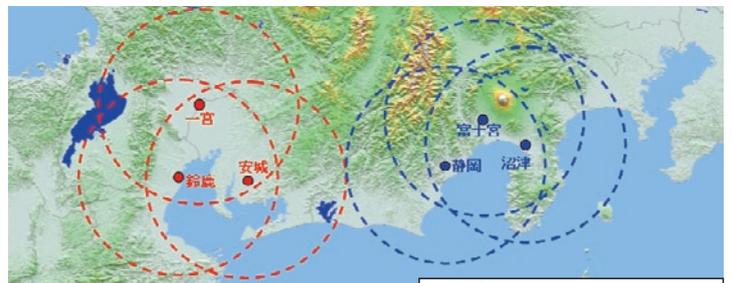
【既存レーダ】
（最小観測面積：1kmメッシュ、観測間隔：5分観測から配信に要する時間5～10分）



【XバンドMPレーダ】
（最小観測面積：250mメッシュ、観測間隔：1分観測から配信に要する時間1～2分）



○配置計画



凡例 ● 平成22年度稼働エリア
○ 平成23年度稼働予定エリア

○MPレーダ雨量計とは？

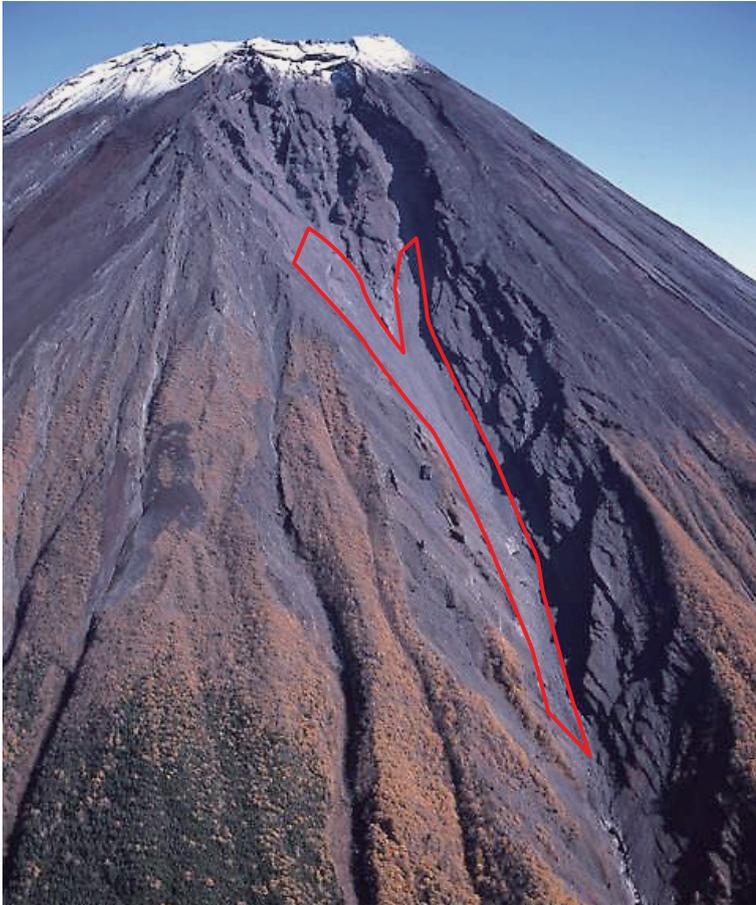
レーダ雨量計のしくみ



MPレーダ（マルチパラメータデータ）は、水平と垂直の偏波面を持った2種類の電波を放射します。雨から返ってくる信号からいろいろな情報を得ることができます。

富士山大沢崩れについて

富士砂防事務所では、富士山大沢崩れの崩壊と堆積、流下土砂について年間の変動量を調査しています。平成22年度の航空レーザ計測の結果を報告します。



○: 土砂が多く堆積している範囲 (H22.11撮影)



図 大沢崩れ谷底部の堆積土砂量の推移

図は、大沢崩れ谷底部の堆積土砂量の推移を示しています。平成21年10月から平成22年10月までの1年間で約3万6千m³の土砂が増えています。

下流の大沢川扇状地まで到達した土石流の発生があった平成16年から累計では約30万m³の量が堆積しています。

「富士山の日」 イベント参加報告

平成23年2月23日「富士山の日」には県内各市町村や地元民間企業で、様々な関連事業が開催されました。富士砂防事務所でも「ふじさんの自然・災害」を通して富士山について「学び」、「考え」、「想い」を寄せる6つの行事に参加しました。

行事を通して日頃から身近な富士山に親しみ、富士山麓での災害についても多くの人々に知っていただくことができました。



「富士見の祭典」パネル展示の様子



大沢扇状地見学の様子



「富士山学習」の様子 (富士川第2中学校)



「ふじさんメッセ」パネル展示の様子

「第15回 富士山への手紙・絵コンクール」受賞者決定

平成23年2月12日(土)、富士宮市、富士宮市教育委員会が主催し、富士砂防事務所が後援する「第15回 富士山への手紙・絵コンクール」の表彰式が、富士宮市市民文化会館で開催されました。

コンクールは、全国・海外から多くの方々から応募いただいており、今年では手紙部門6,767点と絵部門3,146点のあわせて9,913点の応募がありました。表彰式では、手紙部門・絵部門それぞれの受賞者に表彰状が送られました。

○絵部門最優秀賞



幼児の部
池内 碧さん
(だれでもアーティストクラブ年長)



小学生低学年の部
清水 果穂さん
(富士市立第一小学校2年)



小学生高学年の部
福山 和加さん
(富士市立鷹岡小学校5年)



高校・一般の部
佐野 幸枝さん (富士宮市)



中学生の部 馬場也哉子さん
(富士宮市立富士根南中学校3年)

○手紙部門最優秀賞

小学生低学年の部
河之口あみさん
(大阪信愛女学院小学校1年)

ちきゅうにはうみも、りくも、もりもあるのに、うちゅうから見るとあおいいろをしているのはなぜかな。ふじ山もちゃいろなのに、みずいろに見えるのはなぜかな。とってもふしぎでふしぎでたまらないんだけどな。どのくらいちかづいたら、みずいろがちゃいろにかわるのかな。ちゃいろ、みずいろ、ちゃいろ、みずいろって見えるばしょがあるのかな。ケーキやさんへいくと「モンブラン」っていうお山の名まえがついたケーキがあるけど、なぜ「フジサン」っていうケーキはないんだろうね。あったらぜったいかうのにな。

小学生高学年の部
仲亀 尋斗さん
(富士宮市立西小学校4年)

ぼくのお父さんは、屋根を直す仕事をしています。この前は、富士山の九合目の小屋を直しに行きました。九合目からは、海や遠くの街が見えて、とてもきれいだと言っていました。富士山からは、きれいな景色が見ることができて、うらやましいです。

ぼくの家のアパートは、富士山が見える方にまどがありません。家から富士山が見られないのがとても残念に思っていました。けれど、今、ぼくの家は、新しくたてています。富士山がはしからはしまでみえるところを探して、家族みんなで家をたてる場所を決めました。もうすぐ新しい家に住むことができます。これからは、富士山を毎日見ながらすごせるのでうれしいです。

そして、ぼくも、いつか富士山の小屋を直すお父さんのような仕事ができるようがんばります。

- 中学生の部
佐野 公美さん
(富士宮市立第一中学校2年)
- 高校・成人の部
風間 澄さん (京都市)



表彰式の様子

平成23年東北地方太平洋沖地震の被災地に緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE (テックフォース)」を派遣

平成23年3月11日発生の平成23年東北地方太平洋沖地震に対して、中部地方整備局緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE (テックフォース)」として、富士砂防事務所からも職員3名を派遣しました。3月21日(月)から、岩手県宮古市でリエゾン活動を実施しています。

※リエゾン・・・災害時に国と自治体との間での情報のやりとり等のために自治体へ派遣する職員のことを呼称しています。



火山防災関連会議の開催

平成23年2月10日(休)山梨県郡内地域産業振興センターにおいて、災害対策山静神連絡会議が、平成23年2月14日(月)御殿場市民交流センターふじざくらにおいて、環富士山火山防災連絡会がそれぞれ開催されました。これらの会議において、富士山火山噴火時の関係機関連携強化のための意見交換や、富士山火山防災活動についての協議などが行われました。



環富士山火山防災連絡会の様子

安全パトロール及び工事安全協議会の実施



安全パトロールの様子



工事安全協議会の様子

富士砂防事務所では、現在発注している工事現場での事故防止を徹底するために、平成23年1月25日(火)に安全パトロール及び工事安全協議会を開催しました。午前中には「平成22年度富士山砂沢沈砂地工事」の現場のパトロールを実施し、午後から安全に関する現場での実践事例及び工夫等の紹介などを行い、さらなる安全意識の高揚に努めました。

富士山総合学習及び現地見学会等結果報告

富士砂防事務所では、富士山総合学習や砂防事業への一層の理解を深めていただくため、公共団体等より依頼を受けて、平成23年1月～3月までに3件113名の皆様に富士砂防事務所の説明や大沢扇状地を案内し、砂防事業等についての理解を深めていただくことができました。



現地研修会

藤枝市職員 2月2日～3日



現地見学会

中国甘粛省地質土砂災害研修団 3月15日

●ご意見・ご感想・ご質問など、お気軽にお寄せください。

富士山に関する古い写真・資料等をお持ちの方、また災害体験をされた方の情報提供をお願いします。

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544-27-5387

担当/調査・品質確保課 永井、富増まで
インターネット <http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>
E-mail fujisabo@cbr.mlit.go.jp

■富士宮砂防出張所
〒418-0103 静岡県富士宮市上井出1321-9
TEL 0544-54-0236
■由比出張所
〒421-3104 静岡県静岡市清水区蒲原新田2丁目16-8
(旧静岡市清水区役所蒲原支所議会議棟)
TEL 054-389-1202

「ふじあざみ」に掲載している内容・データ等は、現時点までに得ている調査結果を基にしています。今後の調査等の進展により、内容の一部または全部に変更が生じる場合もあります。